

大分県人口ビジョン改訂のポイント

1 国の合計特殊出生率と社会増減均衡目標

- 2060年の総人口は約9,300万人まで減少
- 合計特殊出生率が上昇すると、2060年は約1億人の人口を確保
(合特の想定 2030年1.8程度 2040年2.07程度)
- 長期的にも約9,000万人で概ね安定的に推移すると推計
- 「東京圏への一極集中」の是正を進め、地方と東京圏との転入・転出を均衡(2024年度)

2 大分県人口ビジョンにおける目指すべき将来の方向性

(1) 将来人口推計

このまま何もしなければ、2100年には45.8万人まで減少

(2) 基本的な方向性

2100年(今世紀末)までには増加に転じ、
90万人から100万人程度の人口を維持

(3) 合計特殊出生率と社会増減均衡目標

項目	目標値
合計特殊出生率	2030年 2.0 (県民希望出生率、国+0.2) 2040年 2.3 (人口置換水準、国+0.2程度)
社会増減均衡	2025年 社会増減均衡 (国の東京一極集中の是正を反映)

総人口の将来推計

